

気候情報

2022年1月の日本の天候

- 気温は、東日本で低く、沖縄・奄美で高かった
- 降水量は、北日本日本海側でかなり多かった
- 日照時間は、西日本日本海側でかなり多かった

1月の天気概況

東日本では上旬から中旬にかけて寒気が流れ込みやすかったため、月平均気温は低く、沖縄・奄美では、下旬は南から暖かい空気が流れ込んだため高かった。中旬は低気圧が北海道付近を通過し、通過後は冬の気圧配置となることが多かったため、月降水量は北日本日本海側でかなり多かった。一方、上旬は西日本で移動性高気圧に覆われた時期もあり、下旬は冬の気圧配置となることは少なかったため、月間日照時間は西日本日本海側でかなり多かった。

上旬：低気圧が数日の周期で北海道付近を通過し、通過後は北日本中心の冬の気圧配置となったが、冬の気圧配置が緩む時期もあった。また、北・東・西日本太平洋側では、6日は本州の南岸を低気圧が通過したため、雪が降ったところがあったが、その他の日は低気圧の影響を受けにくく、晴れの日が多かった。

旬平均気温は、北・東日本で低かった。西日本と沖縄・奄美で平年並だった。

旬降水量は、東日本日本海側でかなり少なく、北・東日本太平洋側と西日本で少なかった。北日本日本海側と沖縄・奄美で平年並だった。

旬間日照時間は、北・東・西日本でかなり多かった。沖縄・奄美で平年並だった。

中旬：低気圧が北海道付近を通過し、北日本では太平洋側も含めてまとまった雨や雪が降った。西日本太平洋側では冬の気圧配置となることが多かったため、旬降水量は少なかった。寒気は東日本以南に流れ込み、東・西日本と沖縄・奄美の旬平均気温は低く、寒気の影響で沖縄・奄美の旬間日照時間は少なかった。一方、北日本は寒気の影響を受けにくく、旬平均気温は高かった。

旬平均気温は、北日本で高かった。一方、東・西日本、沖縄・奄美で低かった。

旬降水量は、北日本でかなり多く、東日本日本海側で多かった。一方、西日本太平洋側で少なかった。東日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美で平年並だった。

旬間日照時間は、東日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側と沖縄・奄美で少なかった。北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本で平年並だった。

下旬：旬のはじめと終わりは冬の気圧配置になったが、その他の日は低気圧と高気圧が交互に東北地方付近を通過することが多く、冬の気圧配置となることは少なかった。また、北海道太平洋側は高気圧に覆われることが多かったため、旬降水量は北日本太平洋側と東日本日本海側でかなり少なかった。西日本と沖縄・奄美は寒気の影響を受けにくく、南からの暖かい

空気が流れ込んだ沖縄・奄美で旬平均気温はかなり高かった。

旬平均気温は、沖縄・奄美でかなり高く、西日本で高かった。北・東日本で平年並だった。

旬降水量は、北日本太平洋側と東日本日本海側でかなり少なく、北日本日本海側と東日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美でかなり多く、西日本日本海側で多かった。西日本太平洋側で平年並だった。

旬間日照時間は、北日本と東日本日本海側で多かった。一方、西日本太平洋側で少なかった。東日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美で平年並だった。

1月の気候統計

月平均気温：東日本で低かった。一方、沖縄・奄美で高かった。北・西日本では平年並だった。

月降水量：北日本日本海側でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。一方、東・西日本で少なかった。北日本太平洋側では平年並だった。

月間日照時間：西日本日本海側でかなり多く、北日本、東日本日本海側、西日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美で少なかった。東日本太平洋側では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

1月の記録 (1位更新のみ)

- ・月降水量少ない方から (mm)
浜田 (島根県) 27.0
- ・月間日照時間多い方から (h)
福岡 (福岡県) 152.1など2地点
- ・降雪の深さ月合計値多い方から (cm)
苫小牧 (北海道) 105

2022年1月の平年差 (比) 図

